

「在宅就労セミナー 2021」開催～防災と福祉～

東京都葛飾福祉工場

〒125-0042 東京都葛飾区金町 2-8-20

助成事業の概要

当工場が毎年開催している「在宅就労セミナー」は、障害等の理由により通勤や就業時間に制約のある人たちが、「自分で」「身の丈に合った働き方で」就労することを目的に結成された「在宅就労グループes-team (エス・チーム)」のメンバーが自ら企画し毎年実施しているものである。今年度ですでに17回を数え、関係者が一堂に会する貴重な研修機会と位置付けてきたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の点から前年度よりWeb会議ツール「Zoom」を用いたフルオンラインにて実施している。

テーマについては、今年度は東日本大震災から10年の節目、メンバーからの要望がきっかけとなり、あらためて「防災と福祉」をテーマとして進めることとした。参加者との意見交換も交えながら、一層の多様化をみせる在宅就労の課題や展望をともに探る研修を目指した。

実施日 2021年11月17日(水)

13:30～15:00

セミナータイトル 「在宅就労セミナー 2021
～防災と福祉～」

参加者 在宅就労者、支援者、これから在宅就労を希望する人、企業関係者等 計30名

事業の成果

当工場の近況報告、そして2名の方からの講義、全体連絡と非常に有意義な内容だった。

講演「防災＝福祉～次なる災害から生き延びるために～」、講師高橋未宇さんのお話は、今後起こるであろう巨大地震や自然災害に対して、今からできる備えを東日本大震災の経験から学ぶことができる内容だった。

もうひとつの講演「障害のある方のIT支援— 昨今の支援の柱について情報保障、制度、ツールなど」、堀込真理子さんのお話は、日々の生活に困難を抱える方達にとって、社会全体が良い報告に向かっている事を感じられる内容だった。

高橋未宇さんの「災害の事を考えると怖く、不安になるが、『怖い』の一步先を考えて備えておく。災害時の不安ひとつひとつを減らしていくことによって、怖いという感覚が減っていく。」という言葉から、備えの行動を起こす事が大事だとあらためて考えさせられる内容が盛り込まれていた。

セッションは次の4つの内容に分かれて開催した。

セッション1「メンバー自己紹介&近況報告」では、完全オンライン、完全フルリモートでの開催で、それぞれの近況報告を聞くことができた。

セッション2「防災＝福祉～次なる災害から生き延びるために～」では、障害のある人の立場で東日本大震災を経験された高橋未宇(みう)さんを講師に招き、参加した当事者、支援者、様々な立場の方が今後起こるであろう巨大地震や自然災害に対して、今からできる備えを学ぶことができる内容だった。

セッション3「障害のある方のIT支援— 昨今の支援の柱について情報保障、制度、ツールな

ど」では、東京コロニー職能開発室堀込真理子さんを講師に招き、新たに整えられた法律や制度の紹介と解説や障害のある人にとって有益な最新のITツールの紹介などがあり、様々な事情から日々の生活に困難を抱える方達にとって、社会全体が良い報告に向かっている事を感じられる内容だった。

セッション4「2021年度事業報告、質疑応答、事務連絡等」では、es-team公式サイトのリニューアルなどの情報共有と事務連絡、記念撮影を行った。

成果の広報・公表

成果報告として当事業所のWebサイトに掲載するほか、そのソースとなった情報等も可能な限り公開する。当事業所の広報媒体などにも掲載し、在宅就労という働き方の現状についてさらに関心が高まっていくよう取り組んでいく。

また、このセミナーの大きな特徴として、障害のある在宅就労者が自ら企画し、事前告知や当日の進行、収支計算等も行っていることあげられる。ほかにも、講師との折衝を重ねたり、成果を報告にまとめたりと、在宅就労の実践者として、自らの経験値を伝え、さらなる普及に貢献する機会としての側面も、このセミナー実施の大きな成果であるといえる。

今後の展開

2015年度の研修実施以降、7年度にわたり、この助成事業の活用によって当事業所の在宅就労における取組や実績の紹介、他団体の動向も含めた情報共有、実践的なテーマの設定など様々な取組みを重ねてきた。

国による働き方改革の動きの中で、障害者の就労の多様化が叫ばれる中、一貫した目標である

「『働くカタチは、ひとつじゃない』の実現」に向けて、仕事を通じて得た経験値を広く紹介したり、さらには他団体とのネットワーク化などにも結び付けていきたいと考える。

一方で、参加者層が固定化されつつあるという点も課題とし、新たな参加対象者の掘り起こしにも取り組んでいきたい。